

令和5年度 第11回

日南市教育委員会

会議録

令和6年1月25日(木) 午後3時から
北郷町地域振興センター 大会議室

- 1 会議の名称 令和５年度教育委員会 第 11 回会議（定例）
- 2 会議日時 令和 6 年 1 月 25 日（木）
午後 3 時から午後 3 時 45 分まで
- 3 出欠確認
 - （１）出席委員 都甲政文、黒木由香、別府信一、佐藤泰信
 - （２）事務局 教育部長兼学校教育課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課課長補佐兼管理係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 北郷町地域振興センター 大会議室
- 5 傍聴者 0 名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和 5 年度第 11 回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。本日は八木委員がお休みということです。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【田中部長】
「事務局は、全員出席です。」
- 8 活動報告
 - （１）教育長活動報告

【都甲教育長】
・12 月 25 日、わかすぎ塾がございました。これ各校の 1、2 年生の新生徒会役員が参加しました。各校の生徒会の取り組みや日南市の中学生憲章について、真剣な協議をしてお

りました。

・12月31日、第49回になりますけど、飢肥城の除夜の鐘をつく会に参加させていただきました。前日まで雨が降っていたんですけども雨も上がりまして、多くの市民の方がですね鐘つきに来られておりました。

・1月4日、校長会です。校長達にですね、今回は学校には1学期、2学期、3学期それぞれ意味があるということをお話してですね、それぞれまた校長先生で自分で考えてくださいと、そういう話をしました。さらにですね、児童生徒の絵画や作文で新聞とかに出しますけど、その働きかけも大切であって、そういうのも先生達に伝えて欲しいということをお話しました。

・1月7日、令和6年の日南市消防出初式です。昨年と比べて暖かい晴天の中実施されました。今年は北郷中学校の少年消防隊が通常点検というのを堂々と行いました。その後、場所を南郷に移して、令和6年二十歳を祝う会に出席しました。今回はコロナ禍前のようにですね保護者も入場を許可しまして、多くの来賓にも参列していただきました。このですね、今年20歳を迎えた子は市の歌が出来た時にちょうど小学校1年生だったんですよ。その時に学校挙げてこの市歌を覚えようっていう取り組みにしたので、とても上手でみんな覚えちゃってですね、前に出てたんですけど声が去年より大きかったんですね、感心しました。

・1月8日、宮崎県の市町村駅伝競走大会に市長と一緒にに行ってきました。選手それぞれ力を発揮してですね、市郡の部で7位という成績でした。南郷小学校の子が一人区間賞を取りました。

・1月11日、12日、校長へのフィードバック面談を行いました。それぞれの学校、校長が学校経営に尽力してまして、その成果について意見を交換しました。

・1月15日、細田中学校に行きました。これはですね、地域自治課の事業で、市内の全中学校でLGBTQの出前授業を実施するという事業なんですけれども、その最初の学校が細田中学校でして、それを見に行きました。当事者でありますレインボービュー宮崎の方がですね、その思いとか考えをお話されて、子ども達も真剣に耳を傾けておりました。

・1月16日、1週間前ですけど、えびの市の教育委員会に訪問しての意見交換会でした。非常にですね実のある交流になったと私は思っております。後で皆さんも感想をまた聞かせてください。

・1月17日、ニチワさんを表敬訪問しました。読書感想文感想画コンクールの協賛企業としてですね、商品を提供してもらっております。今年もですね、審査の報告のため訪問しました。今年はさらに参加賞としてみんなに消しゴムを渡したいことで購入費も出してもらいまして、そのことも改めてお礼を述べたところです。

・1月18日、第15回の日南市新春子どもの声を聴く会。今年もですね市内全ての学校から代表が集いまして行われました。どの発表者も素晴らしい発表をしてくれました。そして質が高いなというような感じを受けました。その後ろには、やっぱり指導した先生方ですね力もあるのかなと思って感謝しているところです。

・ 1月19日、南郷小学校に行ってきました。避難訓練をやったわけですけど、その低学年の部を見たんですが、これは、今回は火災時の煙に対する対応の訓練でして、理科室にですね、こう煙を充満させて、その中に姿勢を低くして入っていくような訓練だったんですけど、皆ですね、怖がることなく訓練に臨んでおりました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

1月16日えびの市の教育委員会との意見交換会に参加させていただきました。30人学級ということで、以前から自分も興味を持っていた取り組みでいろいろ質問させていただいたんですけども、やはり国が35人って出しているところに、この30人ってところが、1つの成果が出る数字なのかなと個人的には考えたところです。この30人学級にすることによっていろんな課題というのも解決に向かっているということなので、またこれ今後どこまで日南市で取り組めるかというところがあると思うんですけども、また参考にさせていただければと思いました。

後、1月18日に新春子どもの声を聴く会に参加させていただきました。本当、全ての発表が素晴らしかったんですけど、中でも自分が一つちょっと興味を持ったのが、吾田東小学校の生徒さんの発表で、地域の見守りをしてくださっている地域の方への感謝の気持ちっていうのがありまして、これ直接この立たれている地域の方に直接伝えられる方が一番いいんでしょうけど、なかなかそういった機会ってのは難しいと思うので、自分がまた吾田まちづくりの役員もしているので、その時にですね、こういった吾田東小学校の子どもの思いがあってこういった発表されましたよというのを僕の方からちょっと伝えていこうかなと思ひまして、またすべきことによって地域の方も頑張ってくれるのかなと思いますので、またそこら辺の報告もしていきたいと思いました。

【佐藤委員】

私もえびの市教育委員会との意見交換会ということで、もう別府委員が言われたとおりなんですけど、その予算をその子どもにですねそれだけかけられるっていうところがすごいなと。この少人数でクラスをっていうことで先生達を雇うということもそうなんですけど、もう幼児期から中学校高校に至るまでですね、子ども達をどのようにこう支えていくとか、それから、もう今日も何かニュースで言ってましたけど今年また生まれた子どもの数がすごく少なかったそうですね。何か小学校のクラスで17クラス、県内ですね。だから本当に少子化対策をもうみんなが力を合わせてやらないと、すぐには結果出ないことですからね、大変だなと。またここを参考に、どんなふうにそういう空気を作っていくといいんだろうということをまた考えたところでした。

それから、新春子どもの声を聴く会ちょっと行けなかったんですけど、見てないからわかりませんが、よく私が学校にいた時はですね、非常に選び方が、担任の先生の個性が出てまして、オーディションをしてですね、この声を聴く会の意図っていうのはみんな

なが思っていることを言ってっていうのが大事なところかなと思うんで、クラスでミニ意見発表会とかやって、誰々ちゃんよかったって是非他の学校の人にも聞いてもらいたいっていうので選ぶ。手間はかかるけどそういうことをやっているクラスもあれば、ちょっとこの子だったらやってくれるだろうということで選ぶ。ただもう実に短い時間でですねいい発表が出来上がるんですけど、私としては是非クラスの中からオーディションじゃないですけど、みんなで意見発表会をやった中の代表っていう感じで選んでいただけると、よりこういった大会の意味がでるかなというふうに思ったところです。

【黒木委員】

私の方も1月16日えびの市の教育委員会との意見交換会で、こちらの方で初めてTFJっていう、その教員の人材派遣っていうシステムがあるということを知って、そういったのを活用されているということもあったり、同じ宮崎県内でも市町村で取り組んでいることが全く違ったりしてるんだなっていうのを感じて、大変勉強になりました。

ちょっと息子が高校生になったということで、飯野高校の探求についてはすごく興味があったので、ちょうど市内の方もいらっしゃってそういった話も聞けたのがすごくよかったことで、やっぱり幼稚園から高校まで繋がってるというのは大きいことだなと思って、参考になることもたくさんあったんじゃないかなと思いました。

18日の新春子どもの声を聴く会は、審査員で参加させていただいたんですけど、事前に作文をいただくんですけど、ちょっと私はそちらの方は目を通さずに実際子どもの発表を聞いて自分がどう感じるかというところで審査をさせてもらってます。伝える、その文章力もなんですけどその伝え方がやっぱり上手な子っていうのも、ひとつとっても気持ち言葉に乗ってすごく心に響いてつい聞いてしまうという発表もあったり、こんなふうに子どもが考えているんだっていうのを新春から聞かされて、ちょっと私もすっかりいろいろ考えながらやっていけないなっていう、ちょっと身が引き締まる思いがしたり、ポロッと涙が流れるような場面があったり、新年早々すごく刺激になるいいお仕事をさせていただいたなと思います。これ小学校と中学校、6年生と中学1年生ってこんなにちょっとした時間でこんなに成長するのかって、小学生の後の中学生の発表を聞いて、すごく感動したところもあったので、また来年も楽しみに行きたいと思います。

【都甲教育長】

えびのはですよやっぱりよかったですね行ってね。これはうちの教育委員会のいい取り組みだなと思ってですよ。やっぱりもっともっと時間が正直ね、もっと言えば後ちょっと懇親会でもしながらっていうのがねもっと深まるんですけど。えびのの教育長に翌日電話したらうちの教育委員さんも非常によかったと、非常にいい気持ちで定例教育委員会開いて新年会まで行ったらしいので、また来年もそういう意味じゃどっかそういうところ選んで行きたいなと思います。

9 前回の議事録承認

第10回の議事録について了承

10 議事について

議事1 令和6年度教育基本方針について

(藤岡担当監)	令和6年度教育基本方針について説明。
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

11 報告について

報告1 12月議会報告について

(田中部長)	12月議会報告について
(佐藤委員)	結局フリースクールはもう出席扱いになったんですね。
(都甲教育長)	そういう条件を考えて、それをフリースクールといろいろやりとりしながら、チェックみたいな形でやってもいいし、そしていきましようかってことになりました。
(佐藤委員)	個別に、その場合は出席になるよとか、このフリースクールだったら大丈夫とか。
(都甲教育長)	そうですね、個別ですかね。その子の対応でどうなのかですけど、最終的には校長が判断するんですけど、できるだけ出席扱いにするような形がいいんじゃないかということで、ただし、やっぱり何かしらのあれを持っていかないといけないので。そのこの整理はまだ。
(佐藤委員)	もうそういう子どもさんがいるわけですね。
(藤岡担当監)	出席扱い小学校中学校います。
(別府委員)	そのフリースクール吾田にある。
	今私達が把握しているのは2つなんですけど、そのうちの両方ともです。Bambooとブルーベンチ。
(佐藤委員)	少子化対策として部活とか給食の無償化とか子育てがいろいろ出てますけど、日南市として少子化対策としてはこれだっというのは出るんですよね。
(都甲教育長)	今年、来年度に向けて、市長が全体でその少子化について考えてくれないかということで、それぞれの課が考えて、多分それが3月議会に予算化されて出てくると思います。その中の、うちで言えば

(佐藤委員)	大きいやつが給食の無償化ということになると思います。 限られた予算ですから、そうそうどこに使うか効果的に使わないとですね。あまり少子化対策に結びつかないところのがつつりかけてもどうなんでしょということになりますよね。
(都甲教育長)	少子化対策ってもう広げると今度は結婚しやすい環境とかですよ、そういうとこ始まりますよね。 そういうのをいっぱいいろいろ考えながら、3月議会に出てくると思います。 あと、私から補足なんですけど、トイレのことが出てたんですけども、黒部議員からですね、洋式化率、パーセンテージですね、今現在はこういう状況です。 59.3、54.0、全体で57.4。 そこに書いてある通り、なかなかトイレは最優先にできない。結局外壁とかやるのがたくさんあっての中の、計画的にその中でやっていくと。ただし、ここ2、3年ですね、大分トイレは各学校綺麗になって、子ども達の使うところですね、なってると思います。 これ洋式化率 100%はないんですよ。やっぱり洋式でできない子もいるので、例えば和式を1つぐらい残しておくとかいうことになると思います。ただ、体育館についてはなかなか難しいですね。避難所になるケースもあるんですが、体育館までちょっと今まだ手が回らないっていうのが現状です。そういうところは今度そういう災害対策の課もいろいろ今後は連携が出てくるのかなと思います。 私が教育長の職に就いた時に、当時の榎原小学校の校長が、榎原小に避難してこられるんですけど体育館が和式ということで、すぐ私に言われたんですけどなかなか難しくて、ポータブルを置くしかないってことで、それで我慢してもらうということでした。

12 その他

(1) 2月行事予定について

(2) 第13回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和6年2月22日（水） 午後3時から
- ② 場所 南郷ハートフルセンター生涯学習館 2階学習室

(3) 日南市教育委員会表彰式

- ① 日時 令和6年2月26日（月） 午後4時20分から
- ② 場所 ふれあい健やかセンター5階大会議室

(4) その他

【佐藤委員】

先程の予定の中に日南市防災会議というのがありまして。これ地震とか、そういうことも含めてですか、会議の内容。

【田中部長】

本防災会議のメンバーが役所だけでなく他の官公庁も含め、当会議は年1回されるんですけど、地震だけではなくはいいですね。

【佐藤委員】

いや、今回の石川県ですね、全国の幼稚園連盟とか子ども園連盟の当然加入している園もそこにあって、お正月だったんで子ども達は預かってないんですけども、結局地域の方が避難してこられる、でも帰れというわけにはいかなくて、結局備蓄もあんまりそこまで想定していなくてですよ、でもなんか石川県の半分は何かそういう民間の方による避難所らしいですよ。だから、幼稚園とか学校とか、最初に想定されていた避難所は、まだいろいろ備えはできていると思うんですけど、指定されてなくても、うちのカトリック幼稚園もですね、日南高校はすぐそばにあるんでみんなそこに行くと思ってたら、地域の方はあそこまでよう行かんと、あんな坂登れんからここに避難させてくれとおっしゃるんですよ。

今いくらかその施設強化費で16万ぐらいお金を頂けるんですけど、今回トイレを買ったんですよ。非常用のトイレ、トイレに被せて断水して大丈夫というのを買ったんですけど、それをいくら買ったかな、200個ぐらい買って、もうそれで16万とかだったと思うんですね。200個というのが1個で4回、1パックで4回ぐらい使えるということなんで、3日ぐらいは何とかなるかもしれないけど、今回見てるともう1週間2週間ってあつという間ですよ。だから、それを一つの園だけ確保するのはもうとても厳しいと。各学校もそうだと思うんですけど。だからその辺もですね、お金の話になります、そこを考えていただけるよう。

【都甲教育長】

そこら辺はまた部署からいろんな話が出てくると思うんですよ。私がちょっと今思っているのは、校長達には各学校がもし避難所になった場合、その想定しなくても逃げて来られた場合にどういう運営をしていくかっていう組織体系は取っておかないと回らないよっていうですね、やっぱり命令系統とか学校がわかっているの校長教頭とかなので、その方達がやっぱり中心でやらないといけないし、そういうのは各学校作ってもらわないと今後はいけないのかな。

【佐藤委員】

なんかその石川県の幼稚園なんかは休みだったじゃないですか。地域の方が来てる

と、誰かが行かないかと。いったい誰が行くと、そういうところからものすごく迷ったそうですね。みんな被災しているので、お前行けよ、いやいやうち無理ってということで結局管理職なんかが行くんですけどとても足りず、だから誰に来てもらうとか、その辺も考えとかんといかんですよねと言われて。

【都甲教育長】

先程おっしゃったようなことは、あると思えば今後は学校でいえばどの学校にも備蓄しておかないといけないとかね。誰が来るかわからないと。来てありませんすみません。が帰ってくださいじゃいかなので、とりあえず2、3日はそこでしのげるような形になるのかなと思ってますよ。そういう話は、今回のこの地震を受けて出てくると思うんですけどね。ですから、もうそれが出た時にそういう形になれば、スピーディーにやっぱり学校におろしていきながら、学校としてもある意味覚悟を持ってもらわないといかん、やっていく必要があるのかなと。

【佐藤委員】

今のネットです、元自衛官とかあいう方が、そういう研修やりますよと来ますよ。一つはこども課の推薦で受けたんですけど、1回受講が5万円、その後ついてくるのが、1回じゃさっぱりわからないんですよどわ一つと言われて。もうこれは自分たちでようせんなと思ったら、後は2年契約の一月5万円、2年縛りなんです、そうなるといやちょっと待ってくださいと、そこまでお金はっていうところで。

ただ確かに専門家の意見を聞いてですよ、計画立てるのは大事だと思うんですけど、ちょっとそれは結局自治体の方に話すべきことじゃないですか。

【都甲教育長】

研修を受けてもらって後、アドバイザー契約を結びましょうって感じですか。

【佐藤委員】

コンサルタントみたいなところですね。幼稚園よくそんなのが来ますよ。ちょっとそれはですね何かそういう自治体単位でやっていただけるというのを。

【都甲教育長】

市民のことをお願いするわけですから、そういう民間のところにもですね。わかりました。また、この場でですねそういうことがお話できれば、今後話していきたいと思えます。

13 閉会